

【みどり市】  
校務 DX 計画

1. 校務 DX を推進する上での現状と課題

令和 6 年度「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」による自己点検の結果によれば、本市の現状は群馬県内の平均を大きく上回っており、校務の DX 化は比較的進んでいると読み取れる。特に、欠席連絡や校内での情報共有は 9 割以上の学校が半分以上デジタル化されている。

しかし、保護者へのお便りや連絡事項の配信など、学校から保護者への連絡はデジタル化が進んでいない結果になっており、課題となっている。

2. 校務 DX を推進するための課題解決、次世代の校務デジタル化

県域共同調達による校務支援システムと汎用クラウドツールの導入が、令和 7 年度以降に向けて進められている。

現在の校務支援システムやサーバ機等の更改のタイミングに合わせ県域のデジタル基盤に参画することで、課題となっている学校から保護者への連絡ツールについても整備されるとともに、県域での活用事例を生かした DX 化を進められることから、参画を検討していく。

また、FAX・押印の見直しを進めるとともに、セキュリティポリシーの制定についても、県域の事例を参考にしながら検討していく。